

# サツマイモのコガネムシ類に対する植付時期による各種粒剤の効果

ダントツ粒剤とプリンスベイトは植付時期にかかわらず安定した効果が期待できる

## 背景・目的

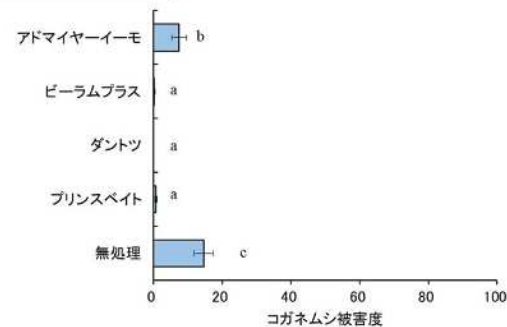
- ・サツマイモ栽培では、コガネムシ類の幼虫による被害で品質が著しく低下
- ・防除対策として畝立て前の粒剤処理が普及
- ・サツマイモの植付期間は長期に渡るため、幼虫の発生時期までの期間が異なり、粒剤の効果に差が生じる可能性
- ・サツマイモの異なる植付時期において各種粒剤のコガネムシ類に対する効果を明確にする

## 成果の内容

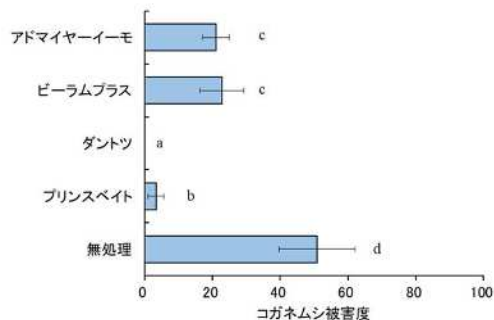
- ・コガネムシ類の幼虫に対する粒剤の効果は、植付時期によっては粒剤の種類で差が生じる
- ・ダントツ粒剤とプリンスベイトは、植付時期に関わらず安定した効果が期待できる



### 4月上旬植付



### 4月下旬植付



### 5月下旬植付

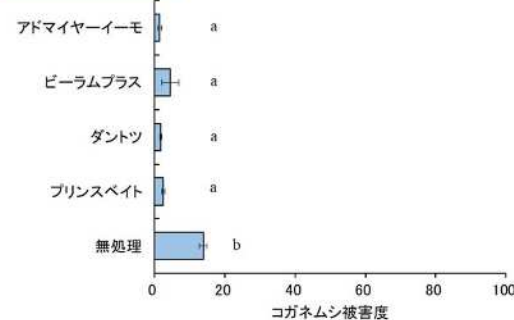
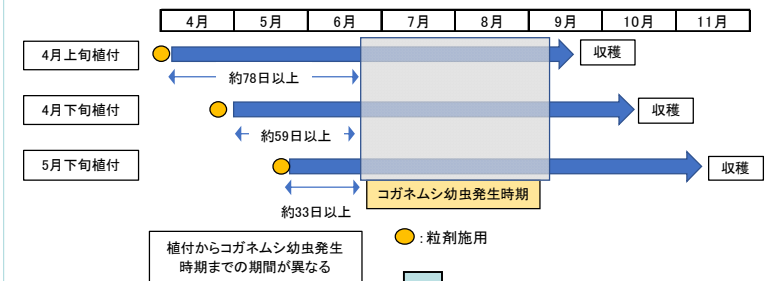


図 各植付時期におけるコガネムシ類幼虫の被害

## 期待される効果



植付時期毎の薬剤の選択に活用

被害が少なく品質が向上

○普及対象・範囲 サツマイモ生産者

鹿児島県農業開発総合センター  
大隅支場 環境研究室